

普及現地情報



発信年月日：令和3年(2021年)6月15日
所属名：湖東農産普及課
番号：F21004
部門分類：110 稲
発信者名：栗山、須戸

宇曾川の水質改善に向けた農業濁水防止対策

当課では、農業濁水防止対策として、令和2年度から宇曾川流域の愛荘町西出集落をモデル地区に設定し、濁水の沈降効果のある石こう資材の散布や、自動給水栓による効率的な水管理技術の導入等、5つの技術実証に取り組んでいます。

農業濁水対策としては、これまで浅水代かきの実践や移植前の強制落水防止などの啓発活動に長期にわたり取り組んできました。しかし、管内を流れる一級河川である宇曾川においては、流域土壌の特性や排水河川という構造から、依然として濁りが大きいことが課題となっていました。

今回取り組んだ実証技術である荒代かき直後の石こう資材の散布については、昨年度は散布時の水深が深すぎたことから濁水の軽減効果が確認できませんでしたが、本年は、適正な水深で散布された結果、見た目でもはっきり分かる程ほ場内の透視度は改善され、その効果は移植前まで継続することが確認できました。

また、自動給水栓については、あらかじめ設定した時間や周期と、ほ場内に設置した水位センサーにより、水田への入水ゲートの開閉を自動で管理できるなど、農業用水の適正な水管理により農業濁水の防止につながることを確認できました。

今後は、2年間の実証内容を検証したのち、地域に応じた対策が導入されるよう取り組みを進めていきます。



植え代かき翌日の田面水

左：石こう散布あり（透視度 15 cm）

右：石こう散布なし（透視度 5 cm）

設置した自動給水栓
「水回りゲートくん」